SASST 建築鉄骨構造
技術支援協会
Supporting Association
for Building Steel Structural Technology

SASST 技術評価 第 14-01 号

技 術 評 価 書

・技術名称　　ベースプレート過大孔充填材を用いた柱脚工法
（通称　親子フィラー柱脚工法）

・技術評価申請者　　株式会社構造工学研究所　代表取締役　大沼 耕平
扶桑機工株式会社　　代表取締役　渡瀬 昌明

・技術概要　本工法は、露出柱脚用のベースプレートにあけたアンカーボルト装着用の過大孔に特殊な形状をした一組の充填材を用いることで、ボルト孔のクリアランスを規定の値以内とする工法である。

・開発趣旨　露出柱脚のベースプレートにあけるアンカーボルト装着用の孔は、ボルト径＋5mm 以内としなければならないことが建築基準法施行令 66 条に関連する告示（平成 12 年建設省告示第 1456 号）で規定されている。ただし、この規定は、構造計算等（実験を含む）で安全が確認された場合には適用されない。
本工法では、露出柱脚のベースプレートにあけるボルト孔径を使用するアンカーボルトの径に応じてボルト径より 24～42mm 大きく設定しており、そこに特殊な形状をした一組の充填材（以下親子フィラーと称する）を使用して、最終的なボルト孔のクリアランスを最大 4mm とし、柱脚部におけるアンカーボルトの施工誤差を吸収することを目標とし、この点を構造実験および施工実験で確認している。

当協会の建築技術評価実施要領に基づき、上記の技術評価対象技術について、下記の通り評価する。

2014 年 4 月 10 日　　（一社）建築鉄骨構造技術支援協会
理事長　田 中 淳 夫